

## 令和 7 年度総会及び意見交換会

### 1. はじめに

去る 5 月 9 日(金)に行われました「第 34 回道央技術士委員会総会及び意見交換会」について報告します。

開催日：令和 7 年 5 月 9 日(金)

場 所：ホテルウィングインターナショナル苫小牧

時 間：17:00～20:00

総会は例年室蘭と苫小牧で開催しており、今年度は苫小牧にて総勢 18 名で行われました。今年は 4 月に比較的雨が多く肌寒い日が続いていましたが、当日は好天に恵まれ、北海道にもようやく暖かく過ごしやすい時期が訪れたことを実感する陽気のなかで行われました。

### 2. 総会

#### (1) 議案

昨年度の活動報告として、防災委員会 WEB 講演会(能登半島地震～災害対応関連)、施設見学会(五洋建設株式会社 札幌支店 室蘭製作所～工場見学、株式会社苫東～苫東地域視察)の報告がありました。また今年度の活動予定として、例年実施している施設見学会(2 回)、講演会・技術研修会に加え、数年前から検討を進めてきた「防災まち歩き」を苫小牧で実施予定とする旨の報告がありました。

その他、今年度は 7 月に①第 15 回 技術者倫理フォーラム(札幌)の苫小牧サテライト会場での開催、②第 46 回 技術者交流フォーラム事業 in 室蘭の開催、そして 9 月中旬～10 月中旬には胆振・日高を含む地域で事業委員会宿泊研修が行われる予定との説明がありました。

以上の通り、今年度は当委員会において多種多様なイベントの開催が予定されております。



写真-1 総会の様子

#### (2) 北海道本部事務局次長の挨拶

北海道本部事務局次長 小澤達也氏より「技術士を巡る最近の動向」を話題としたご挨拶がありました。話題は試験結果、統括本部からの話題及び北海道本部の主な動向についての報告がありました。

統括本部からの特筆すべき話題としては、本年 1 月に開催された第 12 期技術士分科会での検討内容に関するもので、主に技術士育成・若手技術者支援のための IPD 制度(IPD: Initial Professional Development/初期専門能力開発)の整備・充実、また技術士資格取得後の継続研鑽(CPD)の充実・強化等、技術士制度改革における継続的検討事項について説明いただきました。



写真-2 小澤氏のご挨拶

### 3. 意見交換会

本年度の意見交換会は、懇親会を兼ねる形で開催しました。田中代表幹事の乾杯の音頭で開会され、総会の内容についての話題や参加者の近況報告など、技術部門や世代を問わず技術情報の交換が活発に行われました。



写真-3 意見交換会・懇親会の様子

懇親会では、近況報告の一環として昨年度の技術士第二次試験に見事合格した 2 名による報告がありました。

株式会社タナカコンサルタントの中河技術士は、建設部門で合格されました。筆記試験時は身につけていたスマートウォッチが試験会場で使用できず、時間の確認ができない状態で受験したことなど、合格した今だから言える、的なエピソードをいくつか披露していただきました。

30 歳の若さでの合格とのことで、今後は技術士として益々のご活躍を期待しております。



写真-4 合格報告①：中河技術士(建設部門)

株式会社胆振の矢野技術士は、令和 4 年度の建設部門に続き、今回は総合技術監理部門で合格されました。短期間での総監合格、素晴らしいですね！

矢野技術士は以前、建設部門受験時の口頭試験前に知恵熱が出た話を披露していただいた記憶がありましたが、今回は口頭試験直前まで模擬面接を繰り返すなかで涙が出てきたというエピソードを披露いただき、前回と同様、再び会場が笑いに包まれました。総監合格に至った努力・経験を糧に、今後も益々のご活躍を期待しております。

最後に盛山幹事の挨拶と締めのご発声をもって、盛会の内に閉会致しました。



写真-5 合格報告②：矢野技術士(総合技術監理部門)

### 4. おわりに

能登半島では昨年 1 月の能登半島地震と同年 9 月の記録的豪雨による二重被災に見舞われ、地域に甚大な被害をもたらしました。また胆振管内には有珠山、倶多楽、樽前山の常時観測火山があり、特に前回噴火から 25 年が経過した有珠山は、次の噴火がいつ始まってもおかしくないとも言われています。

このように、我々の生活は様々な災害リスクを抱えています。防災意識向上の重要性が増しているなか、当委員会では実施予定の防災まち歩きでは、災害時の被害軽減の観点等から技術士として提案できることを検討していきたいと考えております。

さて、当委員会では今年度も前述した各イベント開催を予定しており、より技術の研鑽に励むとともに、技術を以て持続的に地域への貢献を図っていきたいと考えております。